

# V-Low帯域(95MHz～108MHz)の利活用方策に関する基本方針(案)に係る意見募集結果(概要)

---

2021年(令和3年)5月

放送を巡る諸問題に関する検討会

放送用周波数の活用方策に関する検討分科会

## 1. 実施期間

2021年(令和3年)3月24日(水)~4月22日(木)

## 2. 意見提出者(提出順)

合計55件

### 【放送事業者等】46件

横浜エフエム放送株式会社  
日本放送協会  
株式会社M's STYLE TECHNOLOGY  
株式会社エフエム宮崎  
株式会社エフエム愛媛  
株式会社エフエム香川  
日本テレビ放送網株式会社  
株式会社エフエム秋田  
株式会社エフエム愛知  
株式会社エフエム仙台  
株式会社エフエム大分  
株式会社エフエムラジオ新潟  
株式会社エフエム岩手  
株式会社エフエム鹿児島  
一般社団法人 日本コミュニティ放送協会  
朝日放送ラジオ株式会社

株式会社 文化放送  
電気興業株式会社  
株式会社エフエム大阪  
株式会社エフエム長崎  
株式会社エフエム徳島  
長野エフエム放送株式会社  
広島エフエム放送株式会社  
株式会社アール・エフ・ラジオ日本  
株式会社エフエム高知  
三重エフエム放送株式会社  
株式会社エフエム佐賀  
株式会社エフエム東京  
株式会社 TBSホールディングス  
静岡エフエム放送株式会社  
株式会社エフエム岐阜  
株式会社エフエム福岡

株式会社MBSメディアホールディングス  
株式会社エフエム石川  
株式会社MBSラジオ  
日本インフラ計測株式会社  
株式会社エフエム山口  
株式会社エフエム熊本  
IPDCフォーラム  
株式会社 TBSラジオ  
一般社団法人 日本民間放送連盟  
デジタルコミュニティ放送協議会  
株式会社エフエム山陰  
株式会社エフエム福島  
岡山エフエム放送株式会社  
株式会社エフエム群馬

### 【個人】9件

# 基本方針(案)に対する主な意見とこれに対する考え方

No.	提出された主な意見	考え方
基本方針(案)全体に関する意見		
1	<p><u>基本方針(案)全体について賛同。</u> 【個人】</p>	<p>本基本方針(案)への賛同意見として承ります。</p>
2	<p><u>既存のFM放送技術によるシステムを導入することを支持。既存のFM放送技術によるデータ配信のユースケースに期待。</u> 【個人】</p>	<p>データの配信に係る御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
<p>3. V-Low帯域の利活用方策に関する基本方針 (2)V-Low帯域の利活用方策 ①FM放送用周波数の拡充に関する意見</p>		
3	<p><u>V-Low帯域の一部をFM放送用周波数として利用することに賛同。</u> 【横浜エフエム放送株式会社】 同旨:日本放送協会、株式会社エフエム宮崎、株式会社エフエム愛媛、株式会社エフエム香川、日本テレビ放送網株式会社、株式会社エフエム秋田、株式会社エフエム仙台、株式会社エフエム大分、株式会社エフエムラジオ新潟、株式会社エフエム鹿児島、朝日放送ラジオ株式会社、株式会社文化放送、株式会社エフエム大阪、株式会社エフエム長崎、株式会社エフエム徳島、長野エフエム放送株式会社、広島エフエム放送株式会社、株式会社アール・エフ・ラジオ日本、株式会社エフエム佐賀、株式会社エフエム東京、株式会社TBSホールディングス、静岡エフエム放送株式会社、株式会社エフエム福岡、株式会社MBSメディアホールディングス、株式会社エフエム石川、株式会社MBSラジオ、株式会社エフエム熊本、株式会社TBSラジオ、一般社団法人日本民間放送連盟、株式会社エフエム山陰、株式会社エフエム福島、株式会社エフエム群馬、一般社団法人日本コミュニティ放送協会</p>	<p>本基本方針(案)への賛同意見として承ります。</p>
4	<p><u>既存FM局の広域化のための中継局用周波数を確保するため、V-Low帯域の一部をFM放送用周波数として利用することに賛同。</u> 【株式会社エフエム宮崎】 同旨:株式会社エフエム香川、株式会社エフエム仙台、株式会社エフエムラジオ新潟、株式会社エフエム鹿児島、株式会社エフエム大阪、株式会社エフエム長崎、株式会社エフエム徳島、株式会社エフエム東京、静岡エフエム放送株式会社、株式会社エフエム石川、株式会社エフエム熊本</p>	<p>既存FM局の広域化につきましては、現行の放送対象地域制度に関わるものであり、今後の施策の検討にあたっての参考とさせていただきます。</p>

# 基本方針(案)に対する主な意見とこれに対する考え方

No.	提出された主な意見	考え方
5	<p><u>周波数割当方針等の取りまとめにあたって放送事業者の要望を十分に汲み上げることがを要望。</u></p> <p>【横浜エフエム放送株式会社】</p>	<p>周波数割当方針等の御意見については、放送事業者の要望や中継局整備計画等を踏まえ検討を進めさせていただきます。</p>
6	<p><u>今後の検討にあたって関係事業者の意見を十分汲み取り丁寧に議論を進めることを要望。</u></p> <p>【日本テレビ放送網株式会社】 同旨：株式会社TBSラジオ、一般社団法人日本民間放送連盟</p>	<p>今後の検討にあたって、関係事業者の意見を踏まえ引き続き丁寧に検討を進めて参ります。</p>
7	<p><u>NHKがAM放送の難聴対策や災害対策のためのFM補完局を設置する可能性を踏まえV-Low帯域を柔軟に活用できるよう制度整備を要望。</u></p> <p>【日本放送協会】 同旨：個人</p>	<p>NHKのAM放送の電力は民放より大きく、また、FM放送を既に行っていることを踏まえ、AM放送の主たるFM補完局については、チャンネルプランにおいて民放のAMラジオ放送事業者に係る周波数を公示しています。一方で、都市型難聴対策、外国波混信対策、地理的・地形的難聴対策、災害対策に係るその他のFM補完局については、その開設目的を満たす場合はNHKも開設することが可能です。これらの状況も踏まえ、FM放送用周波数の拡充については今後、必要帯域など周波数割当ての要件について、検討を進めることが必要と考えます。</p> <p>頂いた御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
8	<p><u>AM放送のFM転換を見越して76～108MHzをFM放送用周波数として拡充することが効率的。76MHz～78MHz、106MHz～108MHzを1w以下の小規模局、80MHz～95MHzを実行輻射電力100kw以上の広域圏放送局に1MHz以上の間隔を空けて割当てべき。</u></p> <p>【個人】</p>	<p>FM放送用周波数の拡充については今後、必要帯域など周波数割当ての要件について、検討を進めることが必要と考えます。</p> <p>頂いた御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

# 基本方針(案)に対する主な意見とこれに対する考え方

No.	提出された主な意見	考え方
<p>3. V-Low帯域の利活用方策に関する基本方針(2)V-Low帯域の利活用方策                  ② 防災関連情報の提供を目的とした利用に関する意見</p>		
9	<p><b><u>V-Low 帯域の一部を防災関連情報の提供を目的として利用することに賛成。</u></b>  <b>【株式会社エフエム宮崎】</b>                  同旨:株式会社エフエム愛媛、株式会社エフエム香川、株式会社エフエム秋田、株式会社エフエム愛知、株式会社エフエム仙台、株式会社エフエム大分、株式会社エフエムラジオ新潟、株式会社エフエム岩手、株式会社エフエム鹿児島、株式会社エフエム大阪、株式会社エフエム長崎、株式会社エフエム徳島、広島エフエム放送株式会社、株式会社エフエム高知、三重エフエム放送株式会社、株式会社エフエム佐賀、株式会社エフエム東京、静岡エフエム放送株式会社、株式会社エフエム岐阜、株式会社エフエム福岡、株式会社エフエム石川、株式会社エフエム山口、株式会社エフエム熊本、株式会社エフエム山陰、岡山エフエム放送株式会社、株式会社エフエム群馬</p>	<p>本基本方針(案)への賛同意見として承ります。</p>
10	<p><b><u>地域の既存FM事業者が、FM防災情報システムの構築、運用に参画し、地域の防災活動に貢献できる仕組みを構築できるよう、分科会のワーキンググループで検討することを提案。</u></b>  <b>【株式会社エフエム宮崎】</b>                  同旨:株式会社エフエム愛媛、株式会社エフエム香川、株式会社エフエム秋田、株式会社エフエム愛知、株式会社エフエム大分、株式会社エフエムラジオ新潟、株式会社エフエム岩手、株式会社エフエム鹿児島、株式会社エフエム大阪、株式会社エフエム長崎、株式会社エフエム高知、三重エフエム放送株式会社、株式会社エフエム佐賀、株式会社エフエム東京、静岡エフエム放送株式会社、株式会社エフエム岐阜、株式会社エフエム福岡、株式会社エフエム石川、株式会社エフエム山口、株式会社エフエム熊本、株式会社エフエム山陰、岡山エフエム放送株式会社、株式会社エフエム群馬</p>	<p>地域の防災活動への貢献については、それぞれの地域において放送事業者も含め関係者により主体的に検討されるものと考えます。</p>
11	<p><b><u>防災行政無線の置換のみでは情報伝達エリアや平時の運用による住民等への周知に問題。</u></b>  <b>【株式会社エフエム愛知】</b>                  同旨:株式会社エフエム岐阜</p>	<p>FM防災情報システムは、防災行政無線と連動し補完するシステムとして、主に車両避難者等への情報伝達を目的としたものであり、防災行政無線を置換することを想定したものではありません。</p>

# 基本方針(案)に対する主な意見とこれに対する考え方

No.	提出された主な意見	考え方
12	<p><u>FM路側通信システムについては、V-Low帯域の一部を利用することについて、具体的に検討するよう要望。</u></p> <p>【株式会社エフエム秋田】 同旨：デジタルコミュニティ放送協議会</p>	頂いた御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。
13	<p><u>汎用性のあるFM受信機を活用した防災関連情報の提供は非常に有益である。</u></p> <p><u>防災拠点となる道の駅等において、自治体等の提供する地方活性化を目的とした名所や特産品案内などを紹介することも可能であり、従来のコミュニティFMとは異なる新たな制度設計や技術的条件の検討・策定を行うべき。</u></p> <p>【電気興業株式会社】</p>	本基本方針(案)への賛同意見として承ります。 頂いた御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。
14	<p><u>車両での避難を前提とした考え方に疑問。</u></p> <p><u>災害時には、設備も必要であるが、どのような内容で適切に情報を送出するかが大事。</u></p> <p>【デジタルコミュニティ放送協議会】</p>	車両での避難を推奨しているものではなく、主に車両に乗っていて被災された場合や、コロナ禍の影響等で避難所を避けて車両で避難生活をされる方などを想定しています。 頂いた御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。

# 基本方針(案)に対する主な意見とこれに対する考え方

No.	提出された主な意見	考え方
<p>3. V-Low帯域の利活用方策に関する基本方針(2)V-Low帯域の利活用方策            ③ 新たなサービス、実験・実証用としての利用に関する意見</p>		
15	<p><u>ハイブリッド HD ラジオ用の周波数として利用を検討すべき。</u>            【個人】</p>	<p>新たなサービス、実験・実証用としての利用について検討するにあたっては機器開発のコストやインフラ整備の実現性等を踏まえた事業参入の見込みや利用者ニーズの明確化が必要と考えます。            頂いた御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
16	<p><u>欧州DAB+方式を基本とした防災関連情報配信の提案。</u>            【株式会社M's STYLE TECHNOLOGY】</p>	
17	<p><u>集中豪雨による浸水の被害を最小化するために下水道管・マンホール内の水位を観測、通信するためにV-Low帯の利用を提案。</u>            【日本インフラ計測株式会社】</p>	
18	<p><u>5GとV-Low/V-High帯の補完利用によるコネクテッドモビリティ実現等の検討を提案。</u>            【IPDCフォーラム】</p>	
19	<p><u>カーラジオをどれだけ聞いているかというニーズ調査が必要。デジタル対応の受信機の普及はサービス次第。</u>  <u>アナログに偏重する周波数利用ではなく、未来に向けた検討を期待。</u>            【デジタルコミュニティ放送協議会】</p>	
20	<p><u>新たなサービス、実験・実証用としての利用は認めるべきでない。</u>            【個人】</p>	
21	<p><u>地域的あるいは時間的に利用可能な周波数を新たなサービスや実験・実証用にご利用することに賛同</u>            【株式会社TBSラジオ】            同旨：株式会社エフエム山陰</p>	<p>本基本方針(案)への賛同意見として承ります。</p>
22	<p><u>新たなサービス案として、大規模災害や原発防災など、避難行動が広域に及ぶ災害発生時に自動車内等で音声受信できるシステムが有益。</u>            【株式会社エフエム山陰】</p>	<p>頂いた御意見については今後の検討の参考とさせていただきます。</p>